



野村流 古典音楽保存会 関東支部  
三十周年記念

第六回  
琉球古典・音楽の会

# 野村流古典音楽保存会関東支部

## 三十周年記念

### 第六回 琉球古典音楽の会

#### 賛助出演

東京沖縄県人会  
沖縄タイムス社  
琉球等曲保存会  
野村流古典音楽保存会

日時 ◆ 平成二十年四月六日(日)

十三時三十分開場／十四時開演

会場 ◆ なかのZERO(もみじ山文化センター)

#### 特別出演

野村流古典音楽保存会

小ホール

主催・野村流古典音楽保存会関東支部

後援



ご挨拶

野村流古典音楽保存会関東支部

支部長 宮城秀夫

春爛漫 桜の美しい季節に、野村流古典音楽保存会関東支部三十周年記念公演「第六回琉球古典音楽の会」を開催致すこととなりました。本日はお忙しい中ご来場下さいまして誠にありがとうございます。

当支部は昭和五十三年三月十二日に初代支部長でおられた故金城芳子先生、二代目支部長仲宗根善久先生を中心に琉球古典音楽愛好家によつて結成され、ここに三十周年を迎えることが出来ました。その間には幾多の糾余曲折もありましたが、保存会歴代会長でおられる故安富祖竹久先生、故大山一雄先生、上地源照先生、玉城政文先生、現会長の知花清秀先生、箏の前田千加子先生、箏曲保存会前会長の宮城文先生、現会長の上地尚子先生をはじめ多くの先生方のご尽力によつて今日の日を迎えることが出来ました。先生方にはこの場をお借りし深く感謝申し上げます。

本支部結成当初、会員はほとんど沖縄出身者でしたが、今日では半数以上が本土出身の方々です。本日のプログラムでも古典音楽独唱十三曲のうち八曲は本土出身者が務めます。どうぞご期待下さい。

本日は、沖縄本部より知花会長はじめ大勢の師範、教師、一般会員の方々がご出演下さいました。なかでも沖縄を代表する歌者、宮城康明・金城タケ子両師範によります「本調子仲風・述懐節」は大いに楽しみであります。

最後に後援やご祝辞を賜りました東京沖縄県人会会長川平朝清様、沖縄タイムス社、沖縄芸能協会、琉球箏曲保存会、野村流古典音楽保存会本部、贊助出演で舞台に華を添えて下さいました舞踊の先生方、舞台監督、助監督、音響、照明、司会の皆様方、本公演に向け裏方を務めて下さったスタッフの皆様に関東支部を代表し厚く御礼申し上げます。

私ども支部会員は、琉球古典音楽の研鑽により一層務め、関東における普及発展に寄与致したいと存じております。今後とも皆様には御指導御鞭撻を賜りますよう心からお願ひ申し上げましてご挨拶とさせて頂きます。



ご挨拶 野村流古典音楽保存会  
会長 知花 清秀

当会関東支部の三十周年記念公演が桜咲く季節に開催されることは、誠によろこばしいことで、当会を代表しごあいさつを申し上げます。

関東支部は初代支部長の金城芳子先生から歴代の支部長と会員各位のご努力により三十年という輝かしい年を迎えることができました事に敬意を表します。ご承知のとおり当会自体も五十年の節目を平成十七年に迎え、盛大に式典と記念公演を開催することができました。五十年の間に城間徳太郎先生の「人間国宝」の認定がありました。当会会員大いなる誇りと琉球古典の「音」を「樂」しむ事への意欲が高まつたことと思ひます。

又、野村流古典音楽保存会では野村流の普及拡大を図ると共に、審査を通して新人の発掘と青少年に郷土芸能への愛着と理解を深めると同時に会員の資質向上を図り、正しい三線音楽の継承と芸能文化の向上発展に寄与する目的に「野村流古典音楽保存会賞」を設定し審査実施し、今年で五回目になります。離島の八重山支部や宮古支部では本部から出張して審査にあたっています。関東支部でも十名以上の受験生があれば東京で審査します。

今後の関東支部が益々質の高い郷土沖縄の芸能を通して地域から愛されますよう期待いたします。  
ご盛会と会員各位のご発展を祈念しご挨拶と致します。



# 祝辭 東京沖縄県人会 会長 川平朝清

野村流古典音楽保存会関東支部・創立三十周年まことにおめでとうございます。

十九世紀の野村安趙を祖とする野村流は、数々の先人たちの努力によつて二一世紀の今日まで百五十年以上の歴史を刻んできました。歌三線は沖縄の風土と歴史が生み出した沖縄の人たちの心の音であり、芸能文化であります。歌三線は格調高い民俗芸能で、沖縄という地域の枠を超えて、広くヤマトでも受け入れられる普遍性を持つております。しかし、野村流古典音楽保存会関東支部の活動なくしては、歌三線が、関東地区でこれほど大勢の人々に愛されることはないかと思います。

近年、琉球舞踊も活発に活動をするようになつておりますが、これも、野村流の歌三線が伴奏音楽として大きな役割を担つてきたからであります。野村流古典音楽保存会関東支部が創立以来、三十年にわたつて沖縄芸能の発展と普及に果たした功績はまことに大きく、高く評価されるものであります。

「第六回琉球古典音楽の会」が、沖縄本部の知花清秀会長を始めとする多数の賛助出演を得て、三十周年の記念に相応しい公演となることは本当にすばらしく、あらためてお祝い申し上げます。

おわりに、三十周年という節目を迎えた野村流古典音楽保存会関東支部のさらなる発展をお祈り申し上げます。



# 祝 辞　沖縄芸能協会　会長　玉城政文

野村流古典音楽保存会・関東支部(宮城秀夫支部長)が、創立三十周年を迎えて、総力を挙げての記念公演を中野区ゼロホールに於いて盛大に催されるのこと、心からお喜びを申し上げご盛会を祈念致します。

貴支部の年々の隆盛は目を見張るものがあり、三十年の敷設にご苦労下さった、歴代の支部長並びに役員のご尽力に対し、深甚の謝意を申し上げたい。

近年貴支部の著しい躍進振りの証に、沖縄タイムス芸術選賞新人部門の増加がある。保存会本部の本島四支部以外の、島外県外支部では、トップを競う位置まで発展しておられるようで、誠に喜びに堪えません。会員各位のさらなるご精進に期待し支部発展につないで戴きたい。

最近では琉球音楽が癒しの音楽として重宝される不可思議な世相に、驚きと喜びの複雑な気持ちになることもある。

あくまでも私達は琉球古典音楽の本質を失することなく、新風に乗つて創り歌われる“音”を理解してあげたいものである。

今後とも貴支部が保存会本部の伝統である「和」の精神を遵守され、楽しく音楽を愛好しながら、支部運営を計り益々のご発展に繋いで行かれるよう祈念申し上げます。

沖縄芸能協会も皆様方の深いご理解の元に四十周年の記念行事も滞りなく終演し、記念誌発刊を残すのみとなりました。

今後とも会員各位のご支援をよろしくお願ひ申し上げ祝辞の稿を閉じます。

平成二十年四月六日



# 祝 詞 琉球箏曲保存会 会長 上地尚子

春爛漫、桜の花が美しい時節に野村流古典音楽保存会関東支部が創立三十周年を迎えられ、本日記念公演を盛大に開催されることを心よりお喜びお祝いを申し上げます。

野村流古典音楽保存会関東支部は一九七八年三月、仲宗根善久先生を中心として十四名の会員で発足なされ、現支部長の宮城秀夫様をはじめ歴代支部長、役員と会員の皆様の並々ならぬご苦労とご努力の上に今日の発展を見ることが出来たことと確信致します。

当会関東支部創立当初から私共琉球箏曲保存会師範の照屋芳子先生が率先して会員を育てまとめられ、北村澄子先生もご一緒に三線の伴奏を務められ、その後土屋富美先生、神谷ケイ子先生、川崎育恵先生方が加わり箏の会員も徐々に多くなつてしまいりました。沖縄から遠い本土の皆様がお稽古する場所を確保するのも大変だとお聞きしております。又お手合わせするにも各地域から集まるので時間がかかるという諸問題をかかえながらも、現在箏曲保存会師範五名、教師一名の先生方が頑張つておられます。

本部と致しましても早く箏曲保存会関東支部が結成できますよう努力してまいりたいと思います。

古典芸能が隆盛を極める中、箏曲の会員が増えない現状に本部として頭を悩ませているところです。その対策の一つとして、今年から「箏曲保存会普及賞」を設け、将来箏曲会を荷うであろう子供達を育成していく事を目的に実施予定であります。

終りに沖縄の民謡「ていんさぐぬ花」の中に『宝玉やていん磨かにば鏽す、朝夕肝みがち浮世渡ら』とあります、今記念公演のご盛会と野村流古典音楽保存会関東支部と箏曲会員の皆様、宝玉のように輝いてますますご発展されますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



# 創立三十周年記念公演に思う

## 野村流古典音楽保存会 師範仲宗根善久

思えば、一九七八年(昭和五十三年)三月十二日(日)東京都渋谷区の「京香ビル」七階で野村流古典音楽保存会関東支部(その日初代支部長故金城芳子選出)が結成され、発足してから早くも三十年の年月が流れました。今、その時の記念写真を眺めながら、発足時とくらべ、現在の関東支部(宮城秀夫支部長)の順調な成長発展ぶりと変化の姿に、ただ驚くばかりである。

何よりも驚くのは、発足当時の会員数は二十名前後で、メンバーは全員一〇〇%沖縄出身者(ウチナーンチュ)で、それがあたり前の時代だったのが、現在の会員数は八十名前後でその過半数(四七名で、箏曲会員八名を除き、三線会員の六二%にあたる)が本土出身者(ヤマトウンチュ)ということである(ちなみに発足時からの現役会員は一名である。)。

前向きに将来を展望すれば、この本土出身会員の増加傾向は恐らく今後もつづき、遠からず関東支部の中心勢力となつて野村流古典音楽を東京から全国に発信し、更に、全世界に普及させる原動力となると思われます。

ヤマトウンチュが中心となつて東京から全国及び全世界に向かつて沖縄の古典音楽を発信することは画期的なことで、関東支部はその実現の最短距離に位置しており、支部をそこまで育て上げてきた支部長ほか指導者、役員の皆様のご貢献に心から敬意を表したい。

このような関東支部の将来の発展を担う人材作りについては、幸いに関東支部では宮城秀夫研究所(一番多くの本土出身会員を擁している)はじめ、各研究所(別紙広告欄参照)で力を入れており、毎年沖縄タイムス芸能コンクールにも受験者を送り出し、相応の新人・優秀・最高各賞の合格者をだし、一昨年から昨年にかけては、最難関のグランプリに本土

出身会員三名(水谷亮介・野村香司・寺本さやか)が合格し、この三名は指導者(師範教師)としても着々と門弟を育成中であります。そこで、将来支部を担つて立つ皆さん(それはこの道を歩む者全てに通じますし、ご承知と思想ですが)にぜひ心得てほしい大切なことがあります。一つは、芸道無限の精神を堅持し生涯にわたつて芸の奥義を極めるべく師弟の信赖関係を緊密にして探求をつづけることです。「何々賞」「何々資格」を授かっても決して驕りたかぶらず、それは道中の目印と心得て謙虚な姿勢で更なる向上を目指して研究を深めていくことです。二つ目は、組織にかかる者として、和の精神を堅持し、自我に固執せず、広く門戸を開いて相手を受け入れる豊かな包容力を培うことです。組織は大きくなればなるほど和の心が求められます。さて、新しい支部発展の端緒ともなる本日の三十周年公演には、沖縄から多くの友情出演者(現会長知花清秀・元会長玉城政文・顧問屋嘉比清・箏曲保存会上地尚子会長はじめ多くの役員・会員)が参加します。この本部と支部が連携した姿の中に、まさしく、この二つの心(精神)が象徴的に垣間見えます。皆さんにとつて本日の諸先輩・同僚との出会いは、稀にしかない絶好の機会です。公演・慰労会等のすき間の時間を有効に活用し、イチャリバチヨーデーの気持で親しく語り合い、長い生涯に渡り本場との深い絆を結ぶチャンスにすることです。最後になりましたが、本公演にご来場・ご鑑賞くださいました皆様に厚く御礼申し上げ今後ともよろしく御支援・御鞭撻下さいますようお願ひ申し上げます。また、本公演のために、ご出演・ご広告・ご祝辞・ご舞台作り等ご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 野村流古典音楽保存会

評議員	金城良長	宮原嘉嘉	大比喰	宮下茂門	田場里	新村連	中金	勝古	監查役	監查役	事務局長	記書	會計
金城良長	宮原嘉嘉	大比喰	宮下茂門	田場里	新村連	中金	勝古	監查役	監查役	事務局長	記書	會計	會計
城	里	連	村	城	新	中	勝	役	役	長	記	書	會
城	連	新	村	里	田	金	古	役	役	長	書	記	會
城	連	田	金	古	勝	中	勝	役	役	長	書	記	會
城	連	勝	中	勝	古	金	古	役	役	長	書	記	會
城	連	古	金	古	役	役	役	役	役	長	書	記	會
城	連	役	役	役	役	役	役	役	役	長	書	記	會
城	連	役	役	役	役	役	役	役	役	長	書	記	會

## 【関東支部役員】

顧問 宮城寛一・東嵩純  
照屋芳子  
宮城秀夫  
土屋富美・神谷清輝  
相談役  
支部長 宮城秀夫  
副支部長 水谷亮介・上里民智徳  
幹事 野村香司・富着良彥  
仲間功 平良芳江  
神谷清輝 寺本さやか  
小西睦子 親盛隆志  
岩片美奈子 板良敷朝栄  
濱田武志・和田ゆり子  
書記 川崎育恵  
会計 北村澄子・登坂寛  
監査

## 【三十周年記念公演実行委員】

宮城秀夫 水谷亮介  
上里民智徳 大城貞吉  
野村香司 富着良彥  
仲間功 平良芳江  
神谷清輝 寺本さやか  
小西睦子 親盛隆志  
岩片美奈子 板良敷朝栄  
濱田武志 和田ゆり子  
川崎育恵 登坂寛  
北村澄子

# 演目

司会 飯島美歩

## ◆第一部◆

一 齒唱 かぎやで風節・御縁節・辺野喜節

（ご挨拶 野村流古典音楽保存会会长 知花清秀）

二 独唱 伊野波節

三 独唱 干瀬節・子持節

四 独唱 本嘉手久節・仲間節

五 舞踊 紫掛

六 独唱 敷山節・仲風節・述懐節

七 舞踊 花風

◇ 休憩（十分間） ◇

◆ 第二部 ◆

- |    |              |             |                     |        |           |                     |    |                      |   |                |
|----|--------------|-------------|---------------------|--------|-----------|---------------------|----|----------------------|---|----------------|
| 十五 | 舞踊<br>加那よー天川 | 独唱<br>高平良万歳 | 独唱<br>本調子仲風節・本調子述懷節 | 十<br>二 | 舞踊<br>瓦屋節 | 独唱<br>下出し仲風節・下出し述懷節 | 十九 | 独唱<br>仲村渠節・赤田風節・本花風節 | 八 | 齊唱<br>作田節・早作田節 |
|----|--------------|-------------|---------------------|--------|-----------|---------------------|----|----------------------|---|----------------|

# 一 育唱 かぎやで風節・御縁節・辺野毒節

## かぎやで風節

今日ぬ誇らしやや

なをにじやなたてている

薔でいきる花ぬ

露ちやたぐどう

◇ 歌 意 ◇

今日のこの喜びを

何に例えることができよう

花の薔が朝露を受けて

ぱつと咲いた清清しい

気持ちである

## 御縁節

御縁あつい弟じや

いちやてい嬉しさや

うちはりてい遊び

我ぬん遊ば

◇ 歌 意 ◇

弟達よ

久しぶりに会うことができて

非常に嬉しい

今日は心置きなく遊びなさい

私も共に遊ぼう

## 辺野毒節

伊集ぬ木ぬ花や

あん美らさ咲ちゆい

我ぬん伊集やどてい

真白咲かな

◇ 歌 意 ◇

伊集の木の花（初夏に咲く

高木の白い花）は

あんなに美しく咲いている

私も伊集の花のように

真白く咲きたい

## 【歌三線】

関東支部

宮城秀夫・水谷亮介・大城貞吉・牧野晃明・野村香司・寺本さやか・神谷清輝・  
佐々木隆史・柏原雄人・富着良彦・板良毅朝栄・上里民智徳・大野まり子・  
濱田武志・和田ゆり子・平井順子・親盛隆司・宮良公子・小西睦子・東江邦夫・  
富原恵子・仲間功・赤岩千鶴子・笠原梢・笠原悠紀・平良芳江・石田ひとみ・  
栗津茂登美・櫻由香・登坂寛・武田奈保子・宮尾博一・渡慶次五月・武田林・  
尾川竜一・麻生節子・吉田健吾・新城聰・安村謙・岩片美奈子・崎原育子・  
又吉和子・花城正人・谷澤寿美子・橋川準・加藤郁恵・山辺友子・山岸洋子・  
安場淳・杉山和敬・杉山晴美・遠山泰永・佐藤建一郎・原田舞  
野村流古典音楽保存会沖縄本部

玉城政文・屋嘉比清・知花清秀・国吉正康・金城夕ケ子・仲宗根裕・一橋恒夫・  
安室孝雄・上原靖弘・赤嶺ミヨ・鳥袋盛一・宮城康明・仲宗根善久・比嘉義勝・  
大傍朝重・久高将寛・宮城赳・新垣一雄・小橋川義弘・宮城幸盛・新垣有仁・  
金城正昭・玉城清・宮城克年・喜瀬昭夫・新垣照久・一橋弘子・喜瀬ヰミ子・  
新垣米子・上原どみ子・大林和子・上原宏子・浦崎清子・伊佐エイコ・上地弘子・  
大城和子・宮城信子・宝春代・友寄トミ子・神谷美恵子・葉袋朋子・岡田和彦

## 【箏】

関東支部

北村澄子・川崎育恵・神谷ケイ子・  
土屋富美・嶺井幸枝・大城朝子・  
花城スミ子・間澤かずえ

琉球箏曲保存会

上地尚子・城間安子・久田ヨシ子・  
比嘉玲子・深井春子・新垣宣子  
新垣米子・新垣末子・真榮城文子

## 【笛】

仲田治巳

## 【胡弓】

又吉真也

## 【太鼓】

渡慶次全一

ご挨拶

野村流古典音楽保存会会長

知花清秀

二 独唱 伊野波節

伊野波節

伊野波の石くびれ

歳歳連れて登る

なやへも石くびれ

遠さはあらな

◇ 歌意 ◇

伊野波の石ころの道を 恋人を連れて登る

普段は難儀な夜道でも 今日が最後の別れだと

思ふともつともつと長く続いて欲しいものだ

【歌三線】

板良敷朝英

東江邦夫

宮尾博一

板良敷朝英

【筝】

土屋富美

### 三 独唱 干瀬節・子持節

干瀬節

里とめばのよで

いやで云うめお宿

冬の夜のよすが

互に語やべら

大城朝子

◇ 歌意 ◇

貴方だと思えば どうして

宿をお断りしましよう

冬の夜長に

思いを語り合いましょう

【歌三線】

岩片美奈子

誰ようらめとて

佐きゆが浜千鳥

逢はねつれなさや

我身とともに

花城スミ子

◇ 歌意 ◇

誰を恨んで淋しく

鳴いているのか 浜千鳥よ

別れた子供に

逢えない淋しさは

私も同じだよ

【歌三線】

和田ゆり子

誰ようらめとて

佐きゆが浜千鳥

逢はねつれなさや

我身とともに

花城スミ子

◇ 歌意 ◇

誰を恨んで淋しく

鳴いているのか 浜千鳥よ

別れた子供に

逢えない淋しさは

私も同じだよ

# 四 独唱 本嘉手久節・仲間節

本嘉手久節

見る花に袖や

引きよ止められて

月のぬきやがてど

戻て行きゆる

◇ 歌意 ◇

見事に咲いた道端の花に

心を引かれて

時の経つのを忘れ

月の明かりに 我に返り

家路に着く

【歌三線】

柏原雄人

我が身つでみちど

他所の上や知ゆる

【箒】

無理するな浮世

土屋富美

情ばかり

◇ 歌意 ◇

自分の身をつねつてこそ

他人の痛みが解るのだ

無理をせず

情けを心がけて

浮世を渡りなさい

【歌三線】

神谷清輝

【箒】

神谷ケイ子

# 五 舞踊 総掛

七 読と二十 読

かせかけて置きゆて

里があかいづ羽

御衣よすらね

(平瀬節)

梓の糸かせに

繰り返し返し

かけて面影の

まさて立ちゆき

かせかけて伽や

ならぬものさらめ

繰り返し返し

思どましゆる

(七尺節)

【舞 手】

藤原悦子

【地謡】

寺本さやか 岩片美奈子

小西睦子 和田ゆり子

大野まり子 又吉和子

【箏】

花城スミ子

【笛】

仲田治巳

【胡弓】

又吉真也

# 六 独唱 散山節・仲風節・述懐節

散山節

誠かや実か 我肝ほればれど

寝覚め驚きの 夢の心地

◇ 歌意 ◇

この知らせは 本当なのか

嘘ではないのか

果然として まるで

夢を見ているようだ

【歌三線】

上里民智徳

神谷ケイ子

仲風節

誠一つの 浮世さめ

のよでい言葉の 令わぬおきゆが

◇ 歌意 ◇

正直一筋こそが

浮世でもつとも大切だ

誠を尽くせば お互に

対立するはずがない

【歌三線】

水谷亮介

嶺井幸枝

述懐節

拌んで懐かしや まづせめてやしが

別て面影の 立たばきやすが

◇ 歌意 ◇

久しぶりにお逢いできて

少しば慰められたのに

お別れしてのち 貴方の面影が

立つたらどうしましよう

【歌三線】

野村香司

北村澄子

七 舞踊 花風

三重城に登て

手巾持ちやげれば

早や舟の慣いや

一目ど見ゆる

(花風節)

朝夕さも御側

拝み慣れ染めの

里や旅しめて

いきやす待ちゆが

(下述懐節)

【踊り手】

新城美佳

【地謡】

新  
城  
美  
佳

仲宗根善久

大城貞吉

【箏】

【箏】

神谷ケイ子

【箏】

【箏】

仲田治巳

【胡弓】

又吉真也

◇休憩（十分間）◇

# 八 齋唱 作田節・早作田節

## 作田節

穂花咲き出れば

塵泥もつかぬ

白ちやねやなびち

畦枕

◇ 歌意 ◇

稻の穂花が咲き出したら

塵も泥もつかず

豊かに実った稻は

頑をたれて 畦を枕にしている

## 早作田節

銀白なかへ

黄金軸立てて

試し擦り増しゆる

雪の真米

◇ 歌意 ◇

銀の白に金の軸立てて

精米すると

雪のような白米が

増えてできる

## 【歌三線】

### 関東支部

宮城秀夫・水谷亮介・大城貞吉・牧野晃明・野村香司・  
寺本さやか・神谷清輝・佐々木隆史・柏原雄人・小西睦子・  
親盛隆司・宮良公子・平良芳江・板良敷朝栄・上里民智徳・  
富原恵子・仲間功・赤岩千鶴子・笠原梢・和田ゆり子・  
大野まり子・濱田武志・笠原悠紀・東江邦夫・武田奈保子・  
宮尾博一・石田ひとみ・栗津茂登美・櫻由香・岩片美奈子・  
崎原育子・又吉和子・谷澤寿美子・橋川隼・安場淳

### 野村流古典音楽保存会 沖縄本部

玉城政文・屋嘉比清・知花清秀・国吉正康・金城夕ヶ子・  
仲宗根裕・一橋恒夫・安室孝雄・上原靖弘・赤嶺ミヨ・島袋盛一・  
宮城康明・仲宗根善久・比嘉義勝・大湾朝重・久高将寛・宮城赳  
新垣一雄・小橋川義弘・宮城幸盛・新垣有仁・金城正昭・玉城清一・  
喜瀬キミ子・新垣米子・上原ひとみ子・大林和子・上原宏子・  
浦崎清子・伊佐エイコ・上地弘子・大城和子・宮城信子・  
宝春代・友寄トミ子・神谷美恵子・葉袋朋子

## 【箏】

### 関東支部

北村澄子・川崎育恵・神谷ケイ子・  
土屋富美・嶺井幸枝・花城スミ子

### 琉球箏曲保存会

上地尚子・城間安子・久田ヨシ子・

比嘉玲子・深井春子・新垣宣子・  
新垣米子・新垣末子・真榮城文子

### 【笛】

仲田治巳

### 【胡弓】

又吉真也

# 九 独唱 仲村渠節・赤田風節・本花風節

## 仲村渠節

仲村渠すばいど ますだれはさげて

あにあらはもとまば しのでいまうれ

◇ 歌意 ◇

仲村渠家の裏座敷の戸に

簾を下げるある時は

家人がいないので

忍んで来てください

【歌三線】

平 良 芳 江

嶺 井 幸 枝

## 赤田風節

赤田門や ちまるとも

恋しみもの門や つまでくいるな

◇ 歌意 ◇

赤田門は団まつても 別から

通り抜けることができるが

みもの門は 通り抜けられないの

団まつてくれるな

【歌三線】

大 野 ま り 子

川 崎 育 惠

## 本花風節

三重城に上て 打ち招く扇

またも巡り来て 結ぶご縁

◇ 歌意 ◇

三重城に上つて

打ち招く扇は

またも巡り会うご縁を祈る

【歌三線】

寺 本 さ や か

北 村 澄 子

十 舞踊 クイヌ・パナ節

一、クイヌ・パナ 登ぶで 漢崎ゆ 見りば

マカが 布晒 見物でもぬ

二、大石に 登ぶてい 前千瀬ゆ 見りば

松がタクといや うむしる 狂言

三、高跡久に登てい 北向かてい 見りば

片帆 船で 見りば 真帆どう やゆる

四、大道頂 登てい 東かい 見りば

百合ぬ 花でい 見りば マルガ カカン

【踊り手】

吉浜久枝

【地謡】

親盛隆司

宮良公子

前新康千代

【箏】

北村澄子

【笛】

仲田治己

【胡弓】

【太鼓】

又吉真也 比嘉邦子

十一 独唱 下出し仲風節・下出し述懐節

下出し仲風節

【歌三線】

下出し述懐節

【歌三線】

結ばらぬ

宮城秀夫

いな昔なる いあはれ

大城貞吉

片系の

語らたる

逢わぬ恨めとて

【箏】

馴れし云言葉の

【箏】

つもる月日

川崎育恵

朽たんうちに

神谷ケイ子

◇ 歌 意 ◇

片系は結ぶことはできない

会いたくても会えない

もうそんなんに  
昔のことなんか

瞳まじく語り合つた言葉を

忘れないうちに

月日とともに

増すばかりだ

今一度逢いたい

## 十二 舞踊 瓦屋節

できややう押し連れて

眺めやり遊ば

今日や名に立ちゆる

十五夜だいもの

(ながらた節)

おす風も今日や

心あてさらめ

雲晴れて照らす

(瓦屋節)

月も眺めたり

できややう立戻ら

里や我が家宿に

待ちゆらだいもの

ササ シヨンガネ スリ シヨンガネ

(シヤウンガナイ節)

【舞 手】

金城啓一郎

田中京子

【地謡】

野村香司

平良芳江

石田ひとみ

栗津茂登美

【箏】

嶺井幸枝

【胡弓】

仲田浩巳

又吉真也

十三 独唱 本調子仲風節

本調子仲風節

歌三線 本調子仲風節・本調子述懐節

歌三線

語りたや

語りたや

月の山の端に

かかるまでも

宮城康明

さらばたち別ら

よそ目無いぬうちに

やがて暁の

鳥も啼きゆら

金城タケ子

【華】

上地尚子

◇ 歌意 ◇

◇ 歌意 ◇

二人きりで

語り令いたい

月があの山に

隠れるまでも

もうお別れしましよう

人目につかないうちに

やがて暁の

鳥も鳴くであろう

十四 舞踊 高平良万歳

親の仇を討たんてやり  
万歳姿にうちやつれ  
棒と杖とに太刀仕込んで  
編笠深く顔隠ち  
忍び忍びに立出でて  
村々里々越え来れば  
平良や忍ぶ敵の門  
兄弟尻目に見過して  
後の道に回り来て  
行く末吉の御神に  
祈る心は我が敵に  
急ぎ引き令ち賜れてやリ  
登て社壇に願立てて  
真南に向ひて眺むれば  
四方の景色の面白や  
伊計と慶良間の渡中には  
海士の釣舟うちつれて  
沖の鷗と見まがふや  
それから下り下り来てエイ  
御寺御門に立寄やり  
休む姿やよそ知らぬ

障の耳切れ鼻切れ  
ぐに引き猫が  
目剥げ首白鼠に  
荒頸首食はれて  
あびらせ 嘆ばせ  
跳のがせ思入りや  
里一人だう  
里が物言ひぐらしゃや  
何にたてるがエイ  
ふだのぢやげなや

(おほんしやり節)

京の小太郎が  
作たんばい  
尻ほげられ手巻  
緒をすげて  
板切目貫き乗り来る  
みいはあはあと  
しいつやうんつやうん  
やんざいかふすや馬舞者  
がいす舞うた獅子舞うた  
かにあるもの御目かけため  
おかしやばかり  
したりがつやうんつやうん  
やあつやうんつやうん

万歳かふすや  
やんざいかふすや  
二月御穂立て穂祭りや  
天より下りの  
何の日取りや  
良い日取り  
米や重さり石や軽さり  
天より下りの

錦の金襴唐芋の金襴  
男の長者の荷馬の長者の  
荷負ひ祝はれて  
やんざ祝はれて  
やんざやんざと  
馬乗て通れば  
一段とほめられて  
今日も明日も御祝事  
(万歳かふす節)

万歳かふすや  
やんざいかふすや  
二月御穂立て穂祭りや  
天より下りの  
何の日取りや  
良い日取り  
米や重さり石や軽さり  
天より下りの  
布織り上手の綾織り男  
錦の金襴唐芋の金襴  
男の長者の荷馬の長者の  
荷負ひ祝はれて  
やんざ祝はれて  
やんざやんざと  
馬乗て通れば  
一段とほめられて  
今日も明日も御祝事  
(万歳かふす節)

比太又胡仲笛川箏登牧宮地 踊  
嘉鼓吉弓田一崎一坂野城謹 城  
邦一真一治 育 晃秀一 洋  
子也已惠 寛 明夫 子

# 十五 舞踊 加那ヨー天川

加那ヨー 面影の立てば 宿に居られらぬ  
できやよ押しつれて 遊で忘ら

加那ヨー 貫木屋のあさぎ 手巾布たてて

わが思る里に情吳らな

加那ヨー 情吳るびけい 手巾吳て何すが

がまくくんしめるミンサ吳らな

加那ヨー 遊で忘らぬ 踊て忘りぬ

思み増て行きゆさ あれが情

(加那ヨー節)

天川の池や

千尋も立ちゆり

うりゆいん深く

思てたばうれ

(島尻天川節)

【踊り手】

宇夫方路

佐藤美智子

【地謡】

水谷亮介

野村香司

【箏】

北村澄子

【笛】

仲田治巳

【胡弓】

又吉真也

比嘉邦子

【太鼓】

広告掲載

誠に有難うございました

野村流古典音楽保存会関東支部

創立三十周年記念公演

実行委員会

祝

野村流古典音楽保存会関東支部  
～30周年記念公演〈第六回 琉球古典音楽の会〉～  
C o n g r a t u l a t i o n s



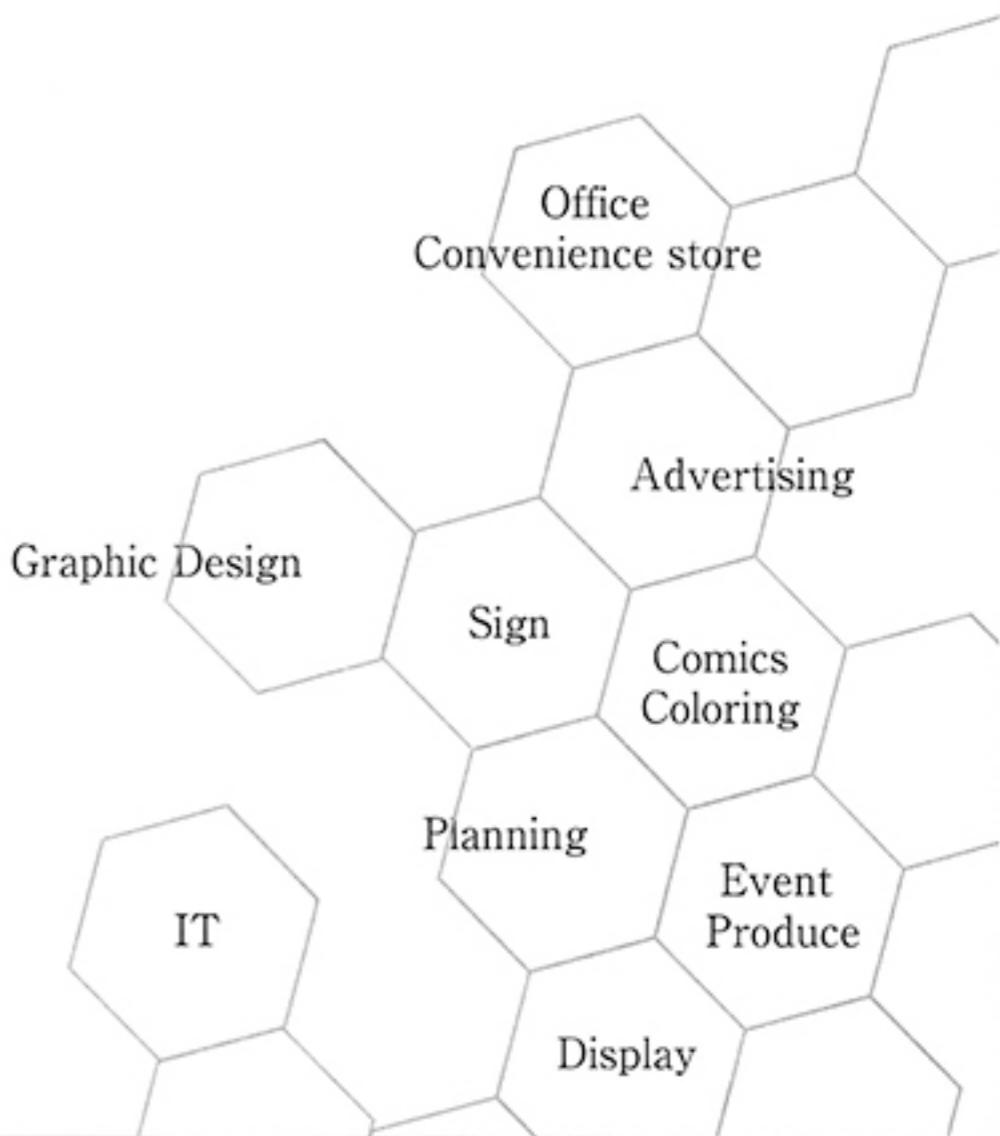
ひらめき  
きらめき  
自然体

Flashing,  
Glittering,  
Naturally.

IEP

株式会社 伊江プロセス

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-4 戸浪大森ビル6F  
Tel.03-3764-9561 Fax.03-3764-6645



税務相談・代行業務

会計・記帳指導業務

税務調査立会業務

経営助言(MAS)業

企業リスクマネージメント

監査・商事法務業務

経営計画作成指導(シュミレーション)業務

企業の発展に貢献する!!

# 仲田会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座2-6-16 銀二ビル3階  
TEL(03)3563-0351(代) FAX(03)3563-1780

所長税理士 仲田 清祐

株銀座電子計算センター	代表取締役
日本経営者有効会	特別会員
東京沖縄県人会	名誉会長
那覇商業関東同窓会	会長
関東沖縄経営者協会	顧問
財団法人沖縄協会	監事
藝能学会	監事
T.K.C東京中央会	相談役

経営コンサルタント業務・会社設立の相談業務・財務及び給与計算代行業務

## 株式会社 仲田経営センター

〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-11-13 新垣通商本社ビル1階  
TEL/FAX(098)867-0655

代表取締役	仲田 清一郎
取締役	仲田 清祐
取締役	東行宏
監査役	座間味浩

祝

野村流古典音樂保存会関東支部創立30周年

豊かな自然と

かけがえのない命のために。

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

人と地球の未来のために —



いであ株式会社

<http://ideacon.jp/>

代表取締役会長 田畑 日出男

本 社

〒154-8585 東京都世田谷区駒沢 3-15-1

TEL. 03-4544-7600

支 社 / 支 店

東京, 大阪 / 札幌, 東北, 名古屋, 広島, 九州, 沖縄

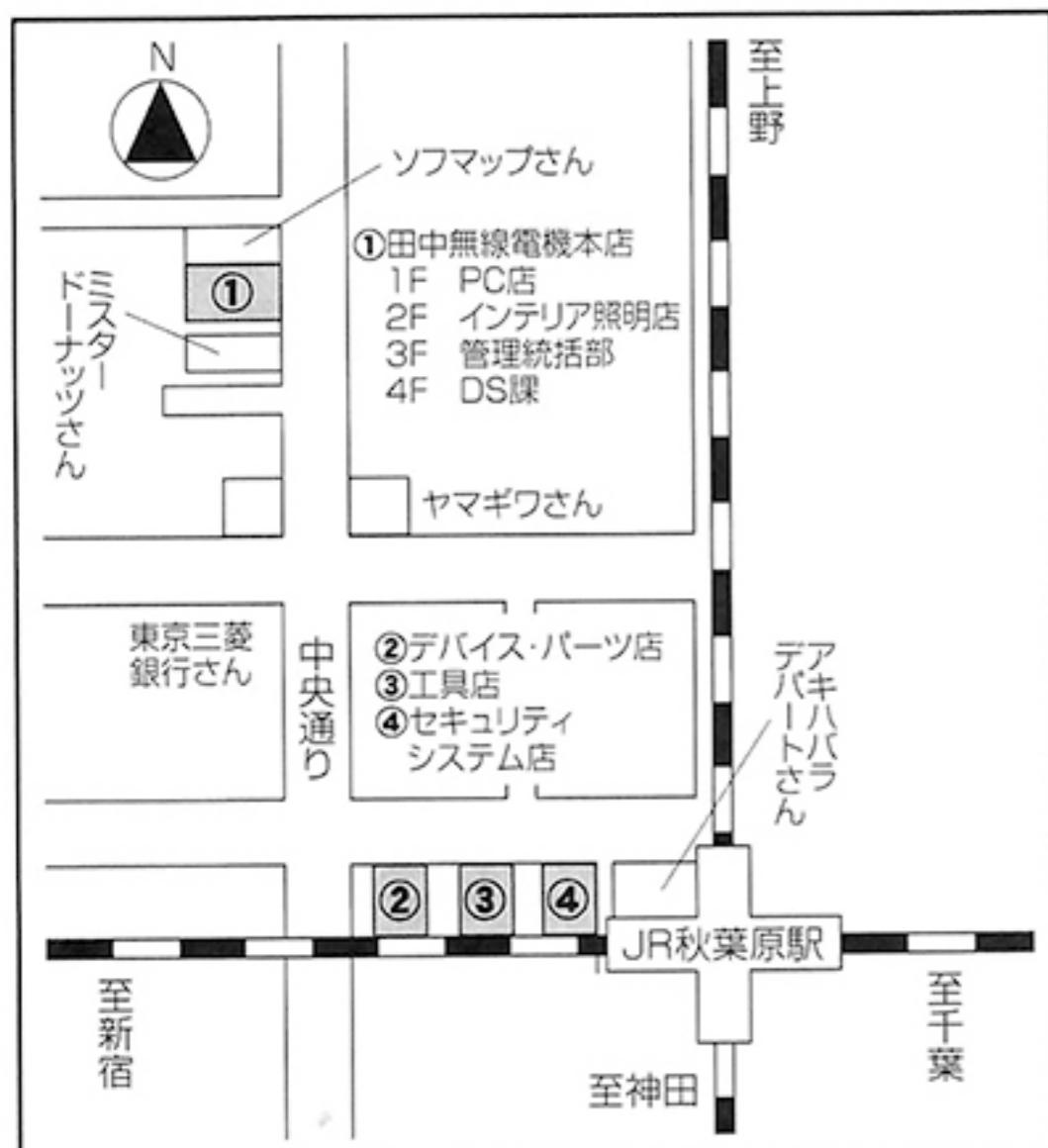
研 究 所

国土環境研究所(神奈川), 環境創造研究所(静岡)

# 信頼の創業50年

秋葉原に4店舗1営業所

3000アイテム商品対応力でお応えします。電子部品・半導体・工具・パソコン・計測器



## 田中無線電機株式会社

代表取締役

小池 一義

<http://www.tanakamusen.co.jp>

本社: 東京都千代田区外神田3-13-7

TEL 03-3255-5757 (代表)

営業所: 東京都千代田区外神田1-14-3

TEL 03-3253-3201 (代表)

PC店

TEL 03-5209-6077

インテリア照明店

TEL 03-3255-5757

デバイス・パーツ店

TEL 03-3253-3207

工具店

TEL 03-3253-3530

セキュリティシステム店

TEL 03-3253-3201

DS課

TEL 03-3253-4001

お客さまと共に歩むお店作りをめざして！

## 小池無線電機株式会社

小池 利之

- 防犯カメラ、監視カメラ
- インターホン
- 無線機、受信機
- モニター各種

- ファイバースコープ
- コネクター、ケーブル類
- テスター、クランプ類
- セキュリティ関係etc...

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-14-2

秋葉原ラジオセンター内

1号店 TEL 03-3255-9664

2号店 TEL 03-3255-9705

FAX 03-5256-6750

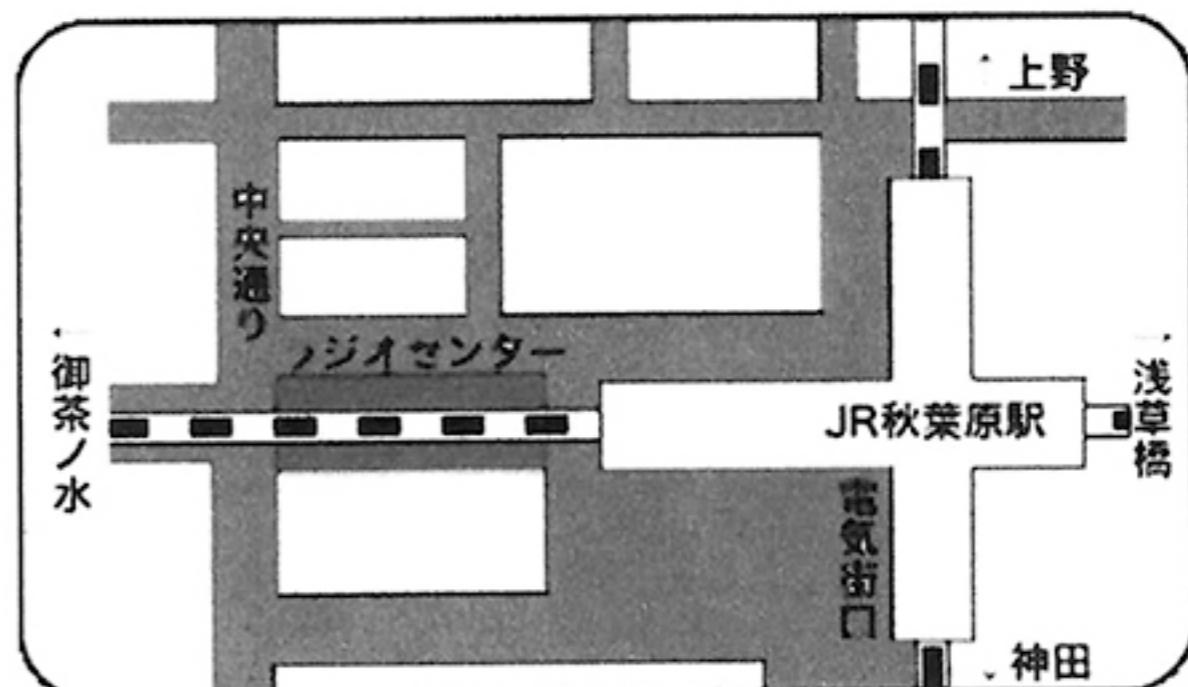
ホームページ

<http://www.koikemusen.com/>

ストアページ

<http://store.yahoo.co.jp/koikemusen/>

メール: koike-m@amber.plala.or.jp



初心者の方に、親切丁寧なご説明をモットーにしております。

# 東京沖縄県人会

会長 川平 朝清 事務局長 島袋 徹

## 行事日程

- 2008年度定期総会  
日時 5月11日（日）  
場所 東海大学校友会館  
(霞ヶ関ビル)
- 沖縄芸能フェスティバル2008  
昼・夜2回公演  
日時 9月14日（日）  
場所 新宿コマ劇場地下1階  
シアターアップル

■ 沖縄情報発信・機関紙  
「月刊・あきなわの声」  
毎月1日付発行  
購読料・年間3000円  
(送料込み)

東京沖縄県人会の行事日程や  
首都圏の沖縄情報を発信して  
います。ご購読の申し込みは  
下記までご連絡ください。

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 (城辺橋ビル2階)  
電話：FAX／03-3281-4320

創立30周年記念公演おめでとうございます

琉球民謡協会 関東支部

支部長 花城 昇宏 副支部長 儀保 輝吉  
事務局 田中 秀二 副支部長 山川 幸英

花城昇宏琉球民謡研究所	東京都板橋区	03-3933-4334	花城
知念栄琉球民謡研究所	横浜市鶴見区	045-502-1104	知念
儀保輝吉琉球民謡研究所	埼玉県川口市	048-226-1210	儀保
麓節子琉球民謡研究所	東京都新宿区	03-3350-1851	麓
運転敏彦三線会	東京都新宿区	03-3352-3662	運転
諸見里悦子琉球民謡研究会	横浜市鶴見区	045-952-4089	大里
田中秀二琉球民謡研究会	東京都府中市	090-2326-5991	田中
山城留美子琉球民謡研究会	東京都新宿区	03-3341-3179	山城
明成琉球民謡研究会	埼玉県飯能市	090-4433-5126	伊藤
片章智恵子四谷琉球俱楽部	東京都新宿区	03-3225-5572	片峯

# 関東支部30周年記念公演 おめでとうございます



## 東京琉球舞踊地謡研究会

野村流古典音楽保存会

師範 仲宗根 善久

(自宅) 〒902-0063 沖縄県那覇市三原2-36-26

TEL. 098-834-5957

(研究所) 杉並教室(阿佐ヶ谷・比嘉ビル)

新宿教室(沖縄食堂・やんばる)

師範 宮城 寛一 (自宅) 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-29-19

TEL. 042-244-4744

師範 東 嵩純 (会社) 〒160-0022 東京都新宿区新宿3-22-1

(やんばる) TEL. 03-5269-3105

師範 大城 貞吉 (研究所) 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西6-4-13

TEL. 03-3675-4635

教師 野村香司 (研究所) 〒121-0053 東京都足立区佐野1-9-14

TEL. 03-5697-0147

教師 親盛隆司 (研究所) 〒169-0072 東京都新宿区大久保1-4-20-301

TEL. 03-3205-0551

教師 小西睦子 (研究所) 文京教室(沖縄料理・護佐丸) 大宮教室(沖縄家庭料理・うるま)

<http://sanshinschool.ti-da.net/>

# 富里会計事務所

税理士 富里 善次

事務所 〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-9-14

TEL 03-5996-2361 / FAX 03-5996-6615

自宅 〒178-0063 東京都練馬区東大泉4-20-18

TEL 03-3923-9758

## ● 総合内装解体工事業



GRATITUDE

株式会社ニシジマ

代表取締役

西島克一

専務取締役

西島功

建設業許可:神奈川県知事許可(第1772号)

The Best Creating Co.,Ltd.

Nishijima Corporation

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 2-4-7 セントラルビル徳江2F  
TEL 045(911)9397 FAX 045(911)2738

産業廃棄物中間処分・収集運搬

株式会社力クユウ

公演のご盛況と琉球古典音楽の御発展を  
心からお祈り申し上げます

本社・工場 埼玉県南埼玉郡菖蒲町台 323-1  
電話 0480-85-0911 FAX 0480-85-7274



KAKUYU

# 東京久米島郷友会

副 部 長	涉 外 部 長	副 部 長	會 計 部 長	監 事	" "	" "	次 事 務 局 長	" "	副 會 長					
嘉 手 莉	宮 城	細 田	橋 口	嶋 崎	上 里	古 堅	友 寄	朝 倉	中 村	亀 川	古 堅	江 洲	丸 川	田 場
昇 重	洋	住 敏		初 秀		宗 洋	マ サ 子	一 正		正	宗 良	道 道	実 実	
哲 子		子 子		枝 雄		啓	夫 子	子		子	孝 一		枝	

顧 問	" "	相 談 役	" "	" "	地 區 委 員	" "	副 部 長	副 部 長	婦 人 部 長	" "	副 部 長	青 年 部 長					
仲 宗 根	高 江 根	江 島 根	平 田 間	大 仲 城	仲 宗 根	嘉 手 莉	喜 久 里	佐 久 川	鈴 木	高 新 林	吾 妻	渡 辺	中 村	島 袋	赤 川	喜 世 盛	崎 村
進 政 文	良 良 助	安 安 盛	健 健 一	修 盛 雄	勇 有 雄	ヒ 園 子	口 学 子	永 久 子	子	政 八 重 子	貴 八 重 子	代 けい 子	玲 玲 子	百合 百合 香	節 美	寅 夫	好 祐

# 総合貿易商社 リドー商事 LIDO SHOJI

## 取扱商品

- 蛇皮・爬虫類皮
  - 直輸入の三味線ケース各種
  - 楽器・部品及び関連製品
  - 民芸品・雑貨類
  - 舶来品各種
  - 各種商品輸入代行
- 住 所 沖縄県那覇市天久 893 番地  
 電 話 (098) 861-0087  
 F A X (098) 862-8663  
 E-mail : lido imemtra@ybb.ne.jp  
 U R L : <http://www.lido-shoji.jp>



# 関東支部30周年記念公演



野村流古典音楽保存会  
大城貞吉古典音楽研究所  
師範 大城貞吉

松田忠男	赤岩千鶴子（新人賞）	荒井つや子（新人賞）
板良敷朝英（新人賞）	新城聰	川口昌子（新人賞）
上里民智徳（優秀賞）	安村満	
富原恵子（新人賞）	笠原梢（新人賞）	
仲間功（新人賞）	川村悠紀（新人賞）	

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西 6-4-13  
TEL 03(3675)4635

ビデオ撮影・編集・ビデオコントロールシステム開発

**テトラ** 商会

西仲野 栄藏

東京都杉並区和泉1-9-10 TEL (03)3325-8761 (代)  
携帯電話 090-3812-0321 FAX (03)6762-8764

# 関東支部30周年記念公演

## おめでとうございます

野村流古典音楽保存会

師範 仲宗根 善久



◆杉並教室／阿佐ヶ谷・比嘉ビル

(JR阿佐ヶ谷駅 北口 徒歩4分)

◆新宿教室／沖縄食堂・やんばる

(JR新宿駅 東口 徒歩6分)

(携)090-5735-1127

徹底したマンツーマン方式による個人指導です。

【舞踊地謡及びコンクール課題曲の指導】

野村流古典音楽保存会

教師 小西 瞳子

◆文京教室／沖縄料理・護佐丸

(JR飯田橋駅 東口 徒歩13分)

◆さいたま大宮教室／沖縄家庭料理・うるま

(JR大宮駅西口 徒歩3分)

ブログ開設中、ご覧下さい。

<http://sanshinschool.ti-da.net/>

三線の基本を丁寧にお教えします。(少人数制)

【まったく初めての方でも大丈夫です。】



## 関東支部30周年記念公演



野村流古典音楽保存会関東支部

師範

# 水谷亮介

〒236-0043 横浜市金沢区大川17-7-917

TEL/FAX045-784-1856

携帯電話090-9237-9843

携帯メール・mizlotte@ezweb.ne.jp



## 関東支部30周年記念公演



野村流古典音楽保存会関東支部

教師

# 野村香司

〒121-0053 東京都足立区佐野1-9-14

TEL/FAX 03-5697-0147

野村流古典音楽保存会関東支部  
創立30周年おめでとうございます

沖縄料理 **城**  
GUSUKU

[営業時間] 19:00～翌5:00  
[電話] 03-5269-2269  
[住所] 〒160-0022  
東京都新宿区新宿3-8-5 中川ビル2階



三線教室

■毎週日曜日 ■18:00～21:00

野村流古典音楽保存会  
教師 寺本さやか

生徒募集中

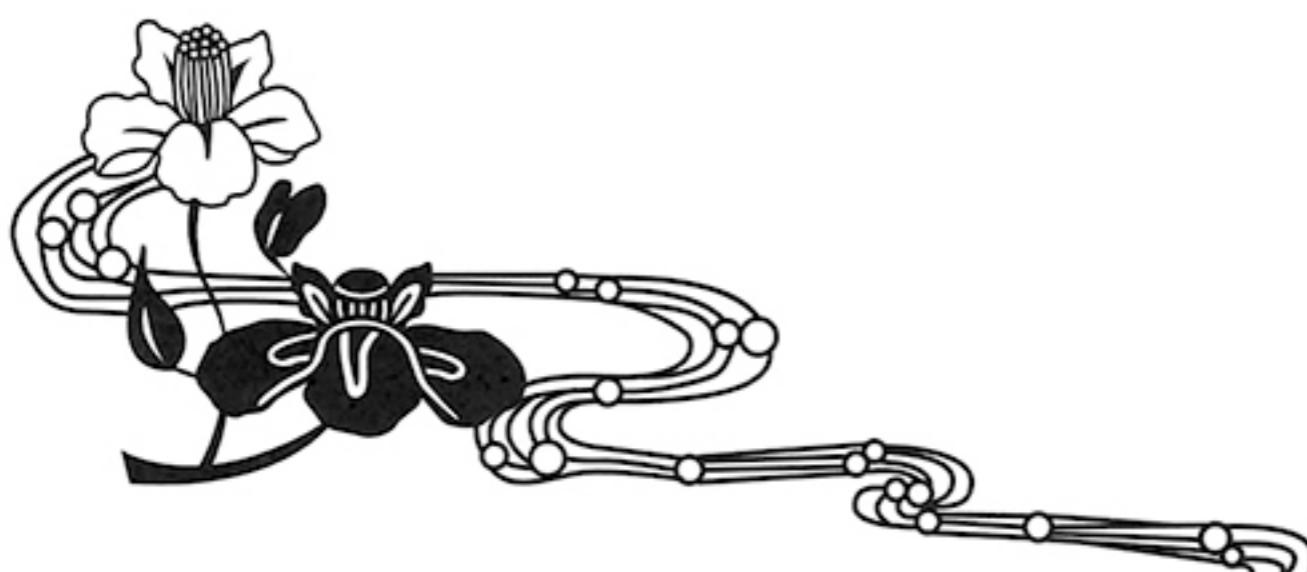
祝 野村流古典音楽保存会関東支部  
創立30周年



野村流古典音楽保存会関東支部

**寺本さやか**

野村流古典音楽研究所



**三線教室**



随時生徒募集中です!!  
初めての方もお気軽にご連絡下さい。

稽古日 毎週日曜日  
時 間 pm6:00～pm9:00

場 所 沖縄料理 **城** (グスク)

〒160-0022  
東京都新宿区新宿3-8-5 中川ビル2階

連絡先 **03-5269-2269**

沖縄の心と共に・・・創刊60年を迎えます

# 沖縄タイムス社

東京支社長  
上原 徹

〒104-0061  
東京都中央区銀座2-4-1 銀楽ビル5F  
TEL 03-3535-3486 FAX 03-3535-3485

## さあ、美ら旅へ。

時には日常を離れ、美しい旅に出かけてみませんか。  
沖縄ツーリストでは、沖縄の島々をはじめ、鹿児島の離島にまで  
お客様をお連れすることができるプランをご用意しております。  
その島でしか味わうことの出来ない魅力、あなたにしか見せない  
一面にきっと出会えることでしょう。



沖縄旅行のご予約・ご相談は…

**沖縄ツーリスト 東京支店**

☎ **03-3509-6311** FAX: 03-3509-6321

〒105-0004 東京都港区新橋1-13-12 堤ビル3F

【営業時間】平日 9:30~18:30/土曜 9:30~15:30/日曜・祝日 定休

**沖縄ツーリスト 銀座わした** 旅行センター

☎ **03-3562-6455** FAX: 03-3562-6456

〒104-0061 東京都中央区銀座1-3-9 実業ビルB1F

【営業時間】10:30~19:30/日曜・祝日 営業（年末年始除く）

## 親盛隆司沖縄三線教室

野村流古典音楽保存会 教師

八重山民謡 師範

琉球民謡保存会 関東支部長

沖縄料理 どうばらーま

〒160-0000 新宿区歌舞伎町1-3-15  
ザカタリーナビル1F  
TEL 03-3200-4639



琉球箏曲保存会

## 北村澄子研究所

〒203-0034 東京都久留米市弥生1-2-37

TEL : 0424-68-8004



琉球箏曲保存会

## 川崎育恵研究所

〒167-0021 東京都杉並区井草1-14-9-202

TEL : 03-5932-6312



琉球箏曲保存会

## 神谷ケイ子研究所

〒120-0012 東京都足立区青井1-18-3

TEL : 03-3840-8578



琉球箏曲保存会

## 土屋富美研究所

〒154-0003 東京都世田谷区野沢1-29-13

TEL : 03-3422-0690

野村流古典音楽保存会 祝 関東支部30周年記念



### 上原宏子琉球古典音楽教室

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志2-19-1

師範 上原宏子 090-9580-7231

### 上原宏子東京三線教室

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町7

東京責任者 加藤郁恵 [tokyo\\_ueharasanshin@yahoo.co.jp](mailto:tokyo_ueharasanshin@yahoo.co.jp)

## 島唄と島料理の店

島の  
人

瀬川新一郎

新宿区新宿2-13-7 新宿ハイツ1F

03(3350)5098



玉城流煌扇会 新城久美琉球舞踊道場

しんじょうひさま

## 師範 新城久美

大久保教室 (新宿区)

東大島教室 (江東区)

西大島教室 (江東区)

田無教室 (西東京市)

三鷹教室 (三鷹市)



〒169-0073 東京都新宿区百人町2-26-18-201

携帯:090(1880)4175 TEL/FAX : 03(3366)0046

## 玉城流 喜納の会 中村志津子琉舞研究所

## 師範 中村志津子

〒902-0061 沖縄県那霸市古島2-26-15

研究所TEL:098(886)0316 携帯:090(2511)1811

## 中村志津子琉舞研究所 東京支部

〒108-0072 東京都港区白金3-9-18-201

代行 濱田ひろみ 080(5021)7856

芝浦教室(田町)教室 第一、第三 土曜日 17:30~

生徒募集

" 第二、第三 土曜日 13:00~

八王子教室 第一、第三 土曜日 13:00~



野村流古典音楽保存会関東支部

## 宮城秀夫古典音楽研究所

師範 宮城 秀夫

初心者歓迎 親切指導 地謡指導

稽古日・・・日曜日 AM10:00～PM5:00

住所 〒164-0013

東京都中野区弥生町2-52-8 城西本社ビル3F

TEL/FAX 03-5385-0580

## 沖縄剛柔流空手道 円水館

館長 宮城 秀夫

稽古日・・・(少年部) 水曜日・金曜日

PM4:00～PM6:00

(一般の部) 日曜日

PM6:00～PM8:00

住所 〒164-0013

東京都中野区弥生町2-52-8 城西本社ビル3F

TEL/FAX 03-5385-0580

## 宮城洋子琉球舞踊研究所

主宰 宮城 洋子



稽古日・・・火曜日・土曜日

PM4:00～PM9:00

住所 〒164-0013

東京都中野区弥生町2-52-8 城西本社ビル3F

TEL/FAX 03-5385-0580

## 【スタッフ】

企画

構成

舞台監督

庄司真吾

監督助手

大草稔

音響

岸本敦夫

照明

森下泰

司会

飯島美歩

表紙

川崎育恵

看板

宮尾華扇

編集

濱田武志・尾川竜一

事務局

濱田武志・和田ゆり子

野村流古典音楽保存会関東支部

宮城秀夫

